

【市民意見等の概要とそれに対する市の考え方】

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
1	<p>コンセプトのうち、「新たな発想が生まれるまち」では、人種を問わず多様な人材とあるが、Rapidusが量産に移った場合、向陽台の企業の様に安い外国人労働者として技能実習生を採用する可能性がある。また関連企業においても同様である。近年外国人技能実習生が著しく増えてきており、今後は家族も呼び寄せる事が可能になり事実上の移民政策になってきている。近年日本のルールや慣習を守らず、地域住民と様々なトラブルが生じている。地方自治体では多文化共生を謳っているが、今まで安心安全に暮らしてきた地域の日本人の暮らしが最優先であるが、ビジョンの中ではこの点について言及されていない。</p>	1	<p>分類：①案を修正するもの</p> <p>現在、本将来ビジョンの策定を進める中で、本市に立地を検討している企業への聞き取りでは、当面は本市に転入する外国人は少数と見込んでおりますが、将来的には半導体の研究者などを含め、市内に居住する外国人は増加していくことが考えられます。</p> <p>このことから、本市にはすでに千人を超える外国人が居住している実態もあり、本市としましては、いただきましたご意見を踏まえ、住民の安全で安心した暮らしを守りながら、今後は外国人とも共生する社会を目指すことが必要であると考えております。</p> <p>このため、本ビジョンには、外国人居住の状況や様々な文化に対する相互理解の促進の必要性を追記するほか、多文化共生社会の実現に向けた取組を掲載することといたしました。</p>
2	<p>学生が集まりとあるが、Rapidusの進出による家賃の高騰に晒されている。学生は所得が低くまた親の庇護の元暮らしている事から、使えるお金が少ない。学生にとって千歳市は住みにくいまちに変貌しつつある。向陽台に多く住んでいる学生達は、バスの減便によりまちに出る機会が少なくなっていて不自由な生活を強いられている。これらの事から、目指すまちのコンセプトの実現に向けた要素には、学生達が暮らしやすい住居を確保するなど、直接若者達に支援が向かう方策が必要である。</p>	1	<p>分類：③今後の参考とするもの</p> <p>本市では、将来にわたり活力あるまちづくりを進めるためには、市内にある大学などと連携し、学生たちの若い力をまちづくりに生かしていくことが必要であり、このためには、民間事業者などとも連携し、本市が学生にとって暮らしやすく、住みやすいまちとなるための取組が必要になると考えています。いただきましたご意見につきましては、今後、学生が暮らしやすい環境づくりに向けた具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>サービス全般における外国語対応とあるが、英語対応のみで十分である。標識など多言語表記をすると日本語の文字が小さくなり、高齢者が読み辛くなってしまふ。ハード面での対応ではなく、アプリやソフトによる対応が有効である。</p>	1	<p>分類：③今後の参考とするもの</p> <p>本市では、現在「千歳市公共サインガイドライン」において、案内サインや誘導サインなどの公共サインでは、千歳を訪れる多くの来訪者に対応するため「日本語」と「英語」中心の表記にすることを基本とし、その他の外国語については主要交通機関や観光施設などにおいて必要に応じ表記することとしています。</p> <p>しかし、市内に居住する外国人は今後も増加していくことが考えられますことから、今後はサインのみならず、市の刊行物をはじめとする様々な媒体においても、高齢者を含めた多くの市民にとっても利便性が損なうことなく、外国人に対する最適な言語表記のあり方を引き続きよく研究していく必要があると考えております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後、外国人に対する言語表記の考え方の整理や具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>「自然と人が共存するまち」では、豊かな自然環境や緑が減少するなどの影響はあってはならない、後世にわたって守り継がれる、など環境に向けた文言が揃っている。しかし、実現に向けた要素においては、クリーンエネルギーの普及拡大や総合的支援とあり、コンセプトで述べていることと相反する。特に太陽光パネルや風力発電では設置する時には、森林破壊や野生生物の生存を脅かし、更に表土の流出による土石流といった2次災害までも引き起こしてしまう。（支笏湖キャンプ場の近くに風力発電を計画していた。）そして太陽光パネルは、廃却方法が決まっていなく材質には有害なと素などが含まれており、それらの処分も決まっていない。普及拡大に伴い再エネ賦課金もここ十年で10倍にもなっており、第2第3の税金の様になって全ての世帯で可処分所得の減少につながっている。従って前述の自然エネルギーの拡大や支援では、企業や千歳に住んでいる市民だれも豊かにも幸せにもなれない。</p> <p>Rapidus進出のネガティブな面にも正面から向き合う為の重要な背景情報も市民に提示した上で、再度示すべきである。</p>	1	<p>分類：③今後の参考とするもの</p> <p>クリーンエネルギーの普及拡大は脱炭素社会の実現に向けて我が国でも目指しているところであり、本市としてもこれを普及させるための取組を進めていることから、その供給と普及拡大への総合的支援を実現に向けた要素として掲載いたしました。</p> <p>本将来ビジョンのコンセプトにおいては、将来においても本市が持続的な発展をしていくためには、豊かな自然環境や緑を後世にわたって守り継ぎ、自然環境への配慮と経済的発展を同時に進める調和のとれたまちづくりを進めることが必要であるとしており、クリーンエネルギーの普及拡大は、このコンセプトの趣旨を踏まえて取り組むべきであると考えています。いただきましたご意見につきましては、今後、自然エネルギーの拡大や支援に向けた具体的な取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>ごく一部の限られた人が作り上げたものではなく、誰も見えないようなwebでのパブリックコメントではなく、より広く市民の納得と共感を得るための共有を図る必要がある。それが本来の千歳市将来ビジョンでは、無いでしょうか？</p>	1	<p>分類：④意見として伺ったもの</p> <p>本将来ビジョンについては、広く市民等から意見を求めるため、市庁舎や図書館、各コミセン等でも閲覧できるパブリックコメントを実施したところであり、実施に際しては、意見を募集する案件や提出方法などについて、市の広報誌やホームページにおいてお知らせしたところでもあります。</p> <p>また、本ビジョンにおいては、商業・工業・環境・国際交流などに精通した各団体など様々な方に意見をお聞きし策定作業を進めてきました。</p> <p>本ビジョン策定後につきましては、いただきましたご意見を踏まえ、市公式のSNSや千歳市半導体情報ウェブサイトのほか、広報ちとせなど様々な媒体を活用して市民周知を行うとともに、市民の皆様と説明する場などを通じて共感をいただけるような取組を進めてまいります。</p>

【市民意見等の概要とそれに対する市の考え方】

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等の対する市の考え方
6	<p>1. 都市計画の柔軟な見直し</p> <p>JR千歳駅周辺の中心市街地では、民間事業者による開発機運が今後さらに高まっていくものと考えられます。「将来ビジョン（案）（以下、「本案」と呼びます）」でも、中長期的に高まる高度利用ニーズに応じた柔軟な都市計画の見直しが必要になると想定されています（p25 「4. 変化する千歳市（1）」【市の対応】など）。貴市においては、用途地域や指定容積率の見直し、高度利用地区の設定など、柔軟な都市計画制度の運用を通じて民間の創意工夫が最大限に生かされるようお願い申し上げます。</p>	1	<p>分類：③今後の参考とするもの</p> <p>本市においては、JR千歳駅周辺の中心市街地において民間事業者の創意工夫が最大限生かされた土地利用が図られることが望ましいものと考えており、本将来ビジョンにおいては、今後は土地の高度利用が必要となるため、民間事業者の開発を促しながら、本市においても必要な「都市計画変更」を行うことで様々なニーズに対応することについて掲載しております。</p> <p>今後、本ビジョンに基づき、各行政計画に与える影響を検証し、必要に応じて見直すこととしておりますことから、いただきましたご意見につきましては、民間の創意工夫が最大限生かされるような取組を含め、今後柔軟な都市計画制度の運用を検討する際の参考とさせていただきますとともに、担当の部署に報告させていただきます。</p>
7	<p>2. 計画の策定や交付金・補助金の活用</p> <p>本案（p 23 「4. 変化する千歳市（1）」中心市街地及び周辺地域【市の対応】）では、中心市街地での企業の進出スピードが遅いため、短期的には市が事業主体となった事業ではなく、民間事業者による投資を促していくこととされています。民間事業者の投資を引き出すためには、柔軟な都市計画の見直しだけでなく、都市再生整備計画やまちづくりガイドラインなど指針となる計画を策定し、民間事業者がまちづくりの方向性をより具体的に理解して開発を進められる環境を整えたり、交付金・補助金の活用に道筋を開いたりすることも考えられますので、是非ともご検討をお願い申し上げます。</p>	1	<p>分類：③今後の参考とするもの</p> <p>本将来ビジョンに基づき、今後各行政計画に与える影響を検証し、必要に応じて見直すこととしております。</p> <p>今後様々なニーズに合わせたまちの開発を進めるためには、本市としても民間事業者との協力が不可欠であると考えており、都市再生整備計画やまちづくりガイドラインなどの指針となる計画の策定をはじめとした他のご意見につきましては、今後民間事業者の投資を促すために必要な取組を検討する際の参考とさせていただきますとともに、担当の部署に報告させていただきます。</p>
8	<p>3. 道路交通ネットワークの構築</p> <p>JR南千歳駅の東西には、将来的な発展のポテンシャルがあると考えられます。本案でも、空港周辺地域における最適なアクセスが可能となる道路交通ネットワークの構築について検討を進めることとされております（p24 「4. 変化する千歳市（1）」空港及び空港周辺地域【市の対応】）が、新たな工業団地の利便性とJR南千歳駅周辺の拠点性を高める効果的な道路交通ネットワークの構築に期待しております。また、美々地区で事業中の跨線橋を将来的に新千歳空港のターミナルまで直結させるなど、美々地区と空港間の移動時間を短縮するアイデアの実現にも期待しています。</p>	1	<p>分類：③今後の参考とするもの</p> <p>本市においては、ラビダス社が立地している美々ワールドにおける美々南通や国道36号に接続する跨線橋などを整備しており、将来的には新たな工業団地やJR南千歳駅、美々ワールド、新千歳空港を結ぶエリア間の最適なアクセスが可能となる道路ネットワークを構築する必要があるものと考えております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、美々地区と空港間の移動時間を短縮するアイデアを含め、今後最適な道路交通ネットワークを検討する際の参考とさせていただきます。</p>
9	<p>4. グリーンベルトの活用</p> <p>産業発展と自然環境の調和は重要なテーマだと考えられます。本案（p45 「5. 将来ビジョン（1）目指すまちのコンセプト」）でも「自然と人が共存するまち」の自然として具体的に「支笏洞爺国立公園」や「千歳川」などが示されていますが、既に人々の暮らしの身近にあり、自然に親しむことのできる空間として、グリーンベルトの活用も考慮いただければと存じます。</p>	1	<p>分類：①案を修正するもの</p> <p>本市の中心市街地に位置するグリーンベルトについては、市民の方にとって親しみやすい広場として「憩い・遊び・集いの場」をコンセプトとした整備などを実施してきたところであります。まちなかの更なる賑わいを創出するため様々な活用を検討する必要があることから、個別計画に基づきグリーンベルト及び周辺の活用に関するサウンディング型市場調査を実施したところであります。</p> <p>このように、既に具体の検討を行っていることから、本将来ビジョンでは掲載しておりませんでしたが、グリーンベルトの活用は、本市においての重要な要素でありますことから、いただきましたご意見を踏まえ、未来のグリーンベルトを題材としたコラムを掲載することといたします。</p>
10	<p>5. 新千歳空港の位置づけ</p> <p>次世代半導体産業の集積に伴って、市内には様々なバックグラウンドを持った人々が集まると考えられています。そのような人々のメインの玄関口となる新千歳空港に期待される役割は、今後より一層高まると予想されますので、「5. 将来ビジョン」の中でも、新千歳空港に期待する役割などについて触れていただければと存じます。</p>	1	<p>分類：②既に案に盛り込んでいるもの</p> <p>新千歳空港は、本市のまちづくりを進めるうえで重要な要素でありますことから、本市の最上位計画である第7期総合計画のほか各個別計画におきましても、空港と共にすすめるまちづくりについて謳っているところであります。</p> <p>本将来ビジョンでは、ラビダス社の立地効果により新千歳空港の航空需要が増加する認識であり、短期的には、市の対応として、新千歳空港の「新たな滑走路整備」も含めた空港の将来像の検討及び空港の機能強化・高質化に資する整備促進について継続して要望するほか、中長期的には、ラビダス社の事業拡張や企業集積が進むことで航空需要が高まっていくという想定のもと、新千歳空港の機能強化・高質化に向けた取組を促進する必要があることを位置付けすることとしています。</p>
11	<p>6. 外国人の生活支援</p> <p>本案（p36 「4. 変化する千歳市（5）企業集積に伴う人口の増加」）によれば、人口の増加効果の大半は日本人によるものであり、外国人は出張対応による応援が主になるとされています。出張で訪れた外国人は一時的な滞在ではありますが、千歳の街の魅力を諸外国に伝える大切な存在です。外国人が安心して暮らすことのできる将来像に必要な要素として、宿泊施設・商業施設だけでなく、外国人のニーズにきめ細かく対応できる医療機関、子育て支援、生活支援サービスなどの充実が考えられますので、是非ともご検討をお願い申し上げます。</p>	1	<p>分類：③今後の参考とするもの</p> <p>外国人に関しましては、当面は出張などで一時的な滞在が多くなるものと想定しておりますが、将来的には多くの方が訪れ、定住につながる可能性があるものと認識しております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、外国人のニーズにきめ細かく対応できる医療機関などのサービスの充実を含め、今後外国人の定住動向等を注視し具体的な取り組みを検討する際の参考とさせていただきます。</p>

【市民意見等の概要とそれに対する市の考え方】

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
12	<p>半導体産業が当市に生産基地を作られる中で、千歳市の都市構造との差異を感じます。工場群と隣接する場所に千歳市の産業廃棄物処理施設があり、都市の緑化としての景観の方向性が不安に思います。</p>	1	<p>分類：④意見として伺ったもの</p> <p>ラビダス社が立地している美々ワールドは、都市機能と自然環境が調和した多機能拠点都市の創造を図ることを目指し、地区計画を定め周辺環境と調和のとれた良好な市街地の形成を図ることとしております。</p> <p>令和6年4月に根志越地区で新たな焼却処理施設が供用開始されたことから、環境センターにあった既存の焼却処理施設を廃止しましたが、今後は旧施設の利用のあり方等を検討する方向であり、将来的には美々ワールドの開発コンセプトに沿った活用を進めることが必要であると認識していますので、いただきましたご意見につきましては、担当の部署に報告させていただきます。</p>
13	<p>工場等に従事する人々の交通アクセスなど交通量に見合う道路拡充等の方向性やJR北海道との連携に不安を感じます。</p> <p>ビジョンではP24交通に関して検討されることになっているが、本ビジョンで方向性を提示するほうが市民理解を得られると思います。</p>	1	<p>分類：④意見として伺ったもの</p> <p>本市においては、ラビダス社が立地している美々ワールドにおける美々南通や国道36号に接続する跨線橋などを整備しており、将来的には新たな工業団地やJR南千歳駅、美々ワールド、新千歳空港を結ぶエリア間の最適なアクセスが可能となる道路ネットワークを構築する必要があるものと考えております。</p> <p>具体的な道路の拡充等やJR北海道との連携につきましては、今後、美々地区等の周辺における土地利用や将来の交通量を把握し検討を進めることとなりますので、いただきましたご意見につきましては、今後の具体的な検討に向けた参考とさせていただきます。</p>